

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月12日

上場会社名 コスモ・バイオ株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 3386 URL <http://www.cosmobio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠松 敏明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 田中 知 (TEL) 03 (5632) 9600
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	3,287	18.4	461	51.0	445	40.1	278	40.5
21年12月期第2四半期	2,776	—	305	—	317	—	197	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	4,598	09	—	—
21年12月期第2四半期	3,272	41	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
22年12月期第2四半期	6,124		4,946		74.0		74,891	55
21年12月期	5,557		4,319		77.7		71,418	42

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 4,529百万円 21年12月期 4,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	—	—	0	00	—	—	1,200	00	1,200	00
22年12月期	—	—	0	00	—	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	1,200	00	1,200	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,720	27.2	535	17.2	518	16.3	309	125.2	5,109	13

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：無

以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期2Q	60,480株	21年12月期	60,480株
22年12月期2Q	一株	21年12月期	一株
22年12月期2Q	60,480株	21年12月期2Q	60,480株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境につきましては、民間企業の研究開発活動は引き続き堅調でしたが、大学・公的研究機関では、新年度に入り研究開発関係の購買には慎重さが見られ、バイオ研究支援市場全体としては弱い動向でした。一方為替レートは当第2四半期連結累計期間平均91円/ドル（今期計画95円/ドル）でありました。

このような環境下、当社は新規仕入先・商品の開拓、プロモーション及び販売促進に努めてまいりました。また、第1四半期連結会計期間に持分法適用関連会社から連結子会社化したビーエム機器株式会社の業績が、第2四半期連結会計期間から連結業績に寄与しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,287百万円（前年同期比18.4%増）、売上総利益は1,396百万円（同22.6%増）、売上総利益率は42.5%（前年同期実績41.0%）となりました。

以上の結果、営業利益は461百万円（前年同期比51.0%増）、経常利益は445百万円（前年同期比40.1%増）、四半期純利益は278百万円（同40.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

第1四半期連結会計期間において、ビーエム機器株式会社を連結子会社化したことに伴い、資産、負債及び純資産に変動がありました。

(資産)

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ431百万円増加いたしました。これは主に、上記の連結子会社化等に伴い、売上債権（受取手形及び売掛金）が326百万円増加、商品及び製品が280百万円増加したこと等によるものです。有形固定資産につきましては、同様に113百万円増加いたしました。無形固定資産につきましては、59百万円増加いたしました。投資その他の資産につきましては、37百万円減少いたしました。これは主に、上記の連結子会社化に伴うこと等及び資金運用を目的とした社債等の投資有価証券を取得したこと等によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,124百万円（前連結会計年度末比567百万円増）となりました。

(負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が61百万円減少したこと等により28百万円減少いたしました。固定負債につきましては、役員退職慰労金制度を廃止したこと等により役員退職慰労引当金が108百万円減少したこと等により30百万円減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は1,178百万円（前連結会計年度末比59百万円減）となりました。

(純資産)

上記の連結子会社化に伴い少数株主持分が417百万円発生したこと、さらに利益剰余金が205百万円増加したこと等により、当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,946百万円（前連結会計年度末比627百万円増）となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、308百万円の収入（前年同期は654百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、288百万円の支出（前年同期は425百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、72百万円の支出（前年同期は66百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、当期首の1,411百万円から56百万円減少して1,355百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期に補正予算の執行効果により当初予想以上の売上があったこと、また同時期は主要商材の大半を海外から輸入し、その仕入額が最も高い時期となりますが、当初予想では95円/ドルと見込んでいた為替レートが実績では91円/ドルと円高で推移し、仕入原価が当初予想よりも減少したことや販管費の執行の遅れ等により、第2四半期連結累計期間における連結・個別の営業利益、経常利益及び四半期純利益はそれぞれ当初予想を上回りました。このような第2四半期連結累計期間の実績を盛り込み、下期については基本的に当初予想通りに推移することを想定し、販管費等を修正して、本日「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしました。

その概要といたしましては、平成22年12月期通期の連結業績予想においては、ビーエム機器株式会社の連結子会社化の影響もあり、売上高6,720百万円(前年同期比27.2%増)、営業利益535百万円(同17.2%増)、経常利益518百万円(同16.3%増)、当期純利益309百万円(同125.2%増)を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示してしております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,154	1,210
受取手形及び売掛金	1,953	1,626
有価証券	401	530
商品及び製品	715	434
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	17	16
その他	103	90
貸倒引当金	6	0
流動資産合計	4,339	3,908
固定資産		
有形固定資産	164	50
無形固定資産		
のれん	93	61
その他	139	111
無形固定資産合計	232	172
投資その他の資産		
投資有価証券	948	811
関係会社株式	11	337
その他	434	276
貸倒引当金	5	—
投資その他の資産合計	1,388	1,425
固定資産合計	1,785	1,649
資産合計	6,124	5,557

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	419	438
短期借入金	40	20
未払法人税等	232	293
その他	235	203
流動負債合計	927	956
固定負債		
退職給付引当金	155	149
役員退職慰労引当金	6	115
負ののれん	14	—
その他	74	16
固定負債合計	250	281
負債合計	1,178	1,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	2,429	2,223
株主資本合計	4,569	4,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	38	44
評価・換算差額等合計	39	44
少数株主持分	417	—
純資産合計	4,946	4,319
負債純資産合計	6,124	5,557

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,776	3,287
売上原価	1,637	1,891
売上総利益	1,138	1,396
販売費及び一般管理費	833	935
営業利益	305	461
営業外収益		
受取利息	5	5
持分法による投資利益	32	19
その他	6	8
営業外収益合計	45	33
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	32	49
営業外費用合計	33	50
経常利益	317	445
特別利益		
固定資産売却益	0	0
保険解約返戻金	3	4
子会社清算益	—	13
その他	0	2
特別利益合計	4	20
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	320	465
法人税等	122	178
少数株主利益	—	9
四半期純利益	197	278

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	320	465
減価償却費	17	27
のれん償却額	9	10
貸倒引当金の増減額 (は減少)	0	3
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	9	110
退職給付引当金の増減額 (は減少)	3	3
受取利息及び受取配当金	5	5
支払利息	0	0
固定資産除却損	1	0
子会社清算損益 (は益)	—	13
為替差損益 (は益)	0	4
持分法による投資損益 (は益)	32	19
有形固定資産売却損益 (は益)	0	0
売上債権の増減額 (は増加)	301	399
たな卸資産の増減額 (は増加)	55	25
仕入債務の増減額 (は減少)	36	119
その他	10	48
小計	634	565
利息及び配当金の受取額	21	26
利息の支払額	0	0
法人税等の支払額	1	283
営業活動によるキャッシュ・フロー	654	308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	100	—
有価証券の売却及び償還による収入	100	229
投資有価証券の取得による支出	405	231
投資有価証券の売却による収入	—	14
有形固定資産の取得による支出	2	14
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	13	49
無形固定資産の売却による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	258
子会社の清算による収入	—	25
その他	3	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	425	288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	66	72
財務活動によるキャッシュ・フロー	66	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	4
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	161	56
現金及び現金同等物の期首残高	1,206	1,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,368	1,355

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。